

宣言ボタン

1. 背景

階段の利用は健康増進や省エネルギーに繋がるが、多くの人はエレベーターを習慣的に利用しがちである。この課題を解決するために、本研究では、「コミットメント効果」を応用した仕掛けにより、階段利用率が向上するのではないかという仮説を検証する。

2. 仕掛け：宣言ボタン

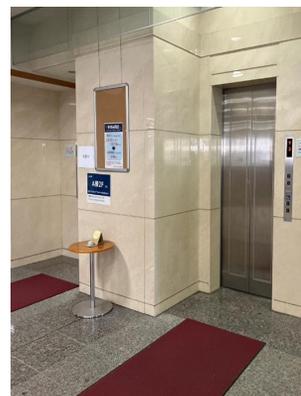
ボタンを押すと、「今から階段上ります」という音声が出る仕掛け。



3. 実験詳細

日時：2025/7/4(金),7/9(水),12/8(月),12/9(火)
12/22(月),12/23(火),12/24(水),2026/1/6(火)
各日10時～15時

場所：福利会館， 共通A棟， 法経研究棟， 総合図書館



方法：各場所で下記実験①、実験②を行う。

実験①：対照群

階段、エレベーターの利用者数を目視で記録する。

実験②：介入群

階段、エレベーターの利用者数と、ボタンに気づいた人数、ボタンを押した人の人数を目視で記録する。

4. 実験結果

		福利会館	共通A棟	法経研究棟	総合図書館
実験① (対照群)	通行人数	219	256	192	195
	階段利用人数 (52.1%)	114 (52.1%)	222 (86.7%)	48 (25.0%)	56 (28.7%)
実験② (介入群)	通行人数	216	257	211	263
	階段利用人数 (52.8%)	114 (52.8%)	217 (84.4%)	78 (37.0%)	106 (40.3%)

カイ二乗検定の結果、階段利用率について、福利会館、共通A棟では有意差なし、法経研究棟、総合図書館では有意差あり($p < 0.05$)。

5. 考察と今後の展望

階段利用率が低い場所において、階段利用を有意に促進させる効果がある。しかし、もともと階段利用率が高い場所においては、階段利用率に変化はない。

仕掛けに気づかない人、気づいても押さない人が多かったため、もっと目立つ、押してみたいくなるようなデザインに改良して実験していきたい。